

「お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)に関する基本方針」に係る取組状況

2025年3月末

1. お客さまにとっての最善の利益の追求

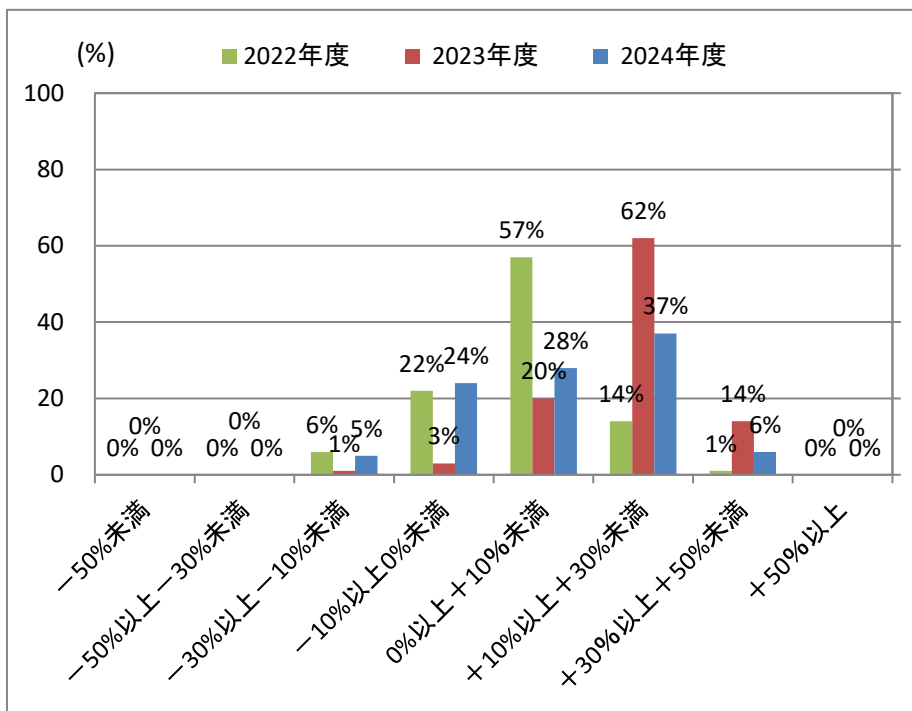
(1) お客さまの最善の利益を図ることにより、どのくらいの割合のお客さまにご満足いただけているか、また上位20銘柄が平均で見てもお客さまの満足を得られる結果となっているかを示しています。

【金融庁原則2本文、注対応】

①運用損益別顧客比率のグラフと分析結果

当金庫にて投資信託を保有しているお客さまの運用損益状況を運用損益率区分ごとに表示しています。

2024年度は、運用損益率がプラス(0%以上)のお客さまは71%でした。



【運用損益の区分】	2022年度	2023年度	2024年度
+50%以上	0%	0%	0%
+30%以上+50%未満	1%	14%	6%
+10%以上+30%未満	14%	62%	37%
0%以上+10%未満	57%	20%	28%
-10%以上0%未満	22%	3%	24%
-30%以上-10%未満	6%	1%	5%
-50%以上-30%未満	0%	0%	0%
-50%未満	0%	0%	0%
合計	100%	100%	100%

対象のお客さま : 基準日 各年3月末時点に投資信託を保有している個人のお客さま

対象取引 : 当金庫の投資信託口座による取引

運用損益 : 基準日時点の評価金額+累計受取分配金(税引き後)+累計売付金額-累計買付金額
(含む消費税込みの販売手数料)

運用損益率 : 上記運用益を基準日時点の評価金額で除して算出

②投資信託の預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターンのグラフと分析結果

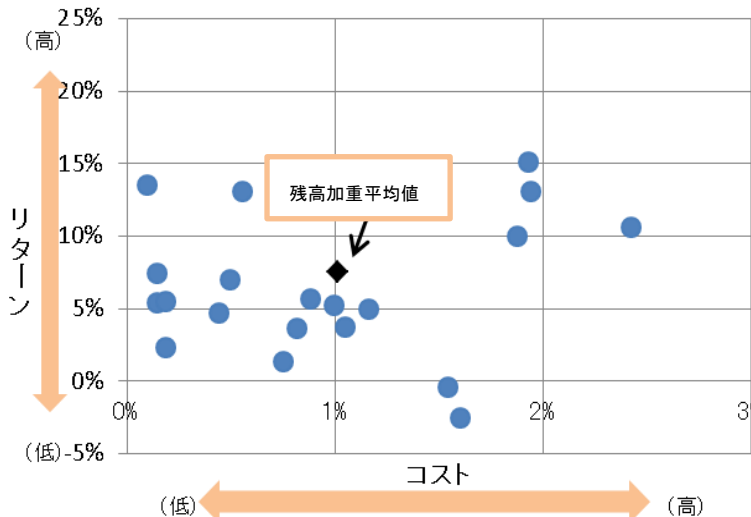
当金庫の投資信託上位20銘柄について、コストやリスクに対するリターンを示しています。

2023年3月末時点では、平均コスト1.02%、平均リスク13.88%に対し、平均リターン7.53%となりました。

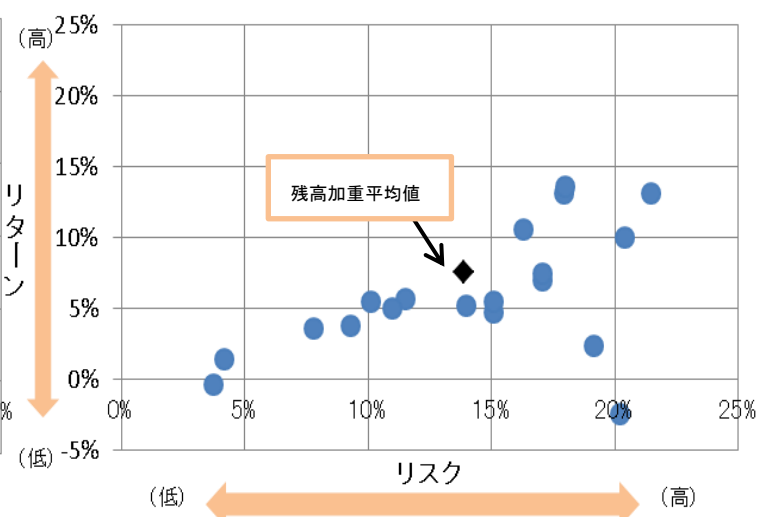
2024年3月末時点では、平均コスト1.46%、平均リスク14.84%に対し、平均リターン13.86%となりました。

2025年3月末時点では、平均コスト1.46%、平均リスク13.90%に対し、平均リターン17.44%となりました。

【2023年3月末】

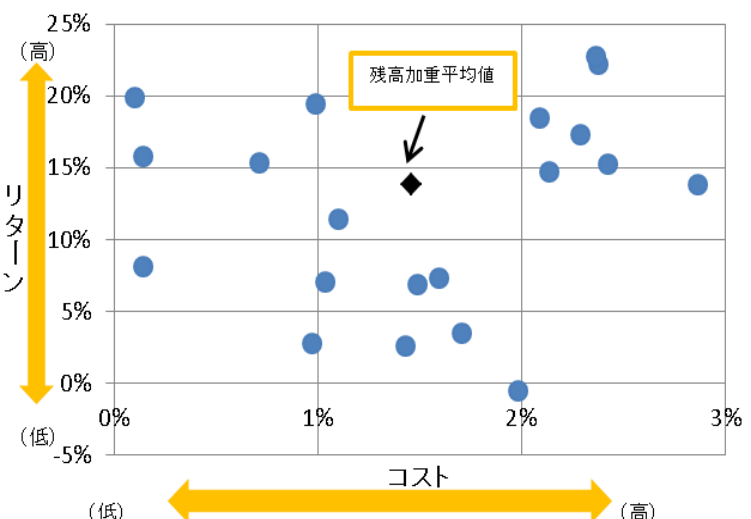


残高加重平均値	コスト	リターン
	1.02%	7.53%

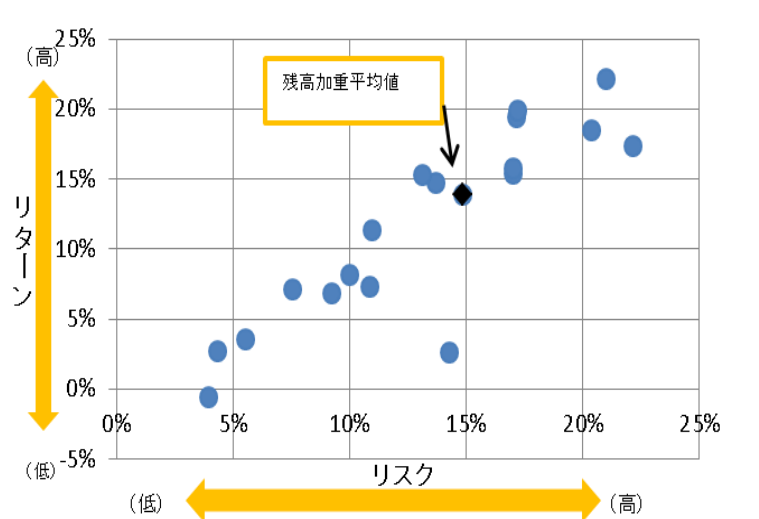


残高加重平均値	リスク	リターン
	13.88%	7.53%

【2024年3月末】

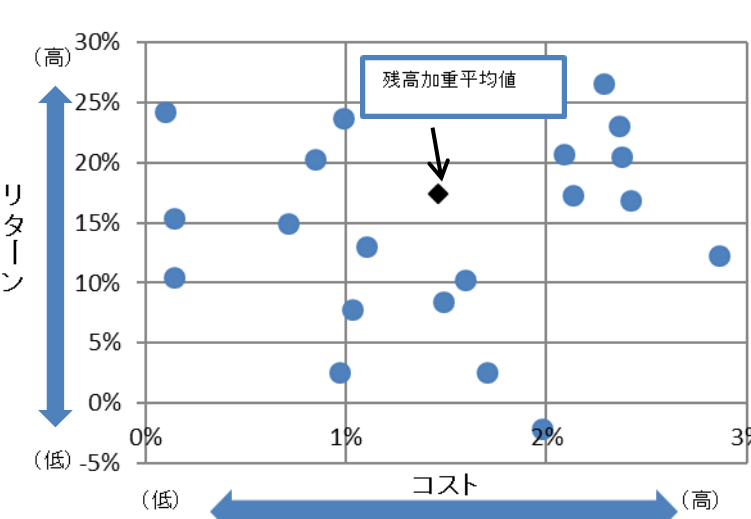


残高加重平均値	コスト	リターン
	1.46%	13.86%

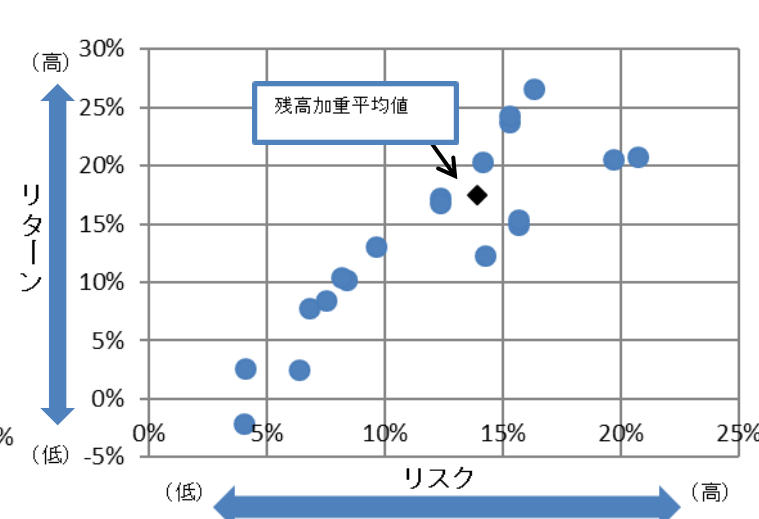


残高加重平均値	リスク	リターン
	14.84%	13.86%

【2025年3月末】



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.46%	17.44%



残高加重平均値	リスク	リターン
	13.90%	17.44%

<預かり資産残高上位 20 銘柄のコスト・リターン/リスク・リターンの成果指標算出基準>

対象ファンド : 投資信託の預かり残高上位 20 銘柄 (設定後 5 年以上)

コスト : (販売手数料 ÷ 5) + 信託報酬 (年率)

リターン : 過去 5 年間のトータルリターン (年率換算)

騰落率算出の際に用いる基準価額は、分配金再投資後 (税引前) の基準価額を使用

リスク : 過去 5 年間の月次リターンの標準偏差 (年率換算)

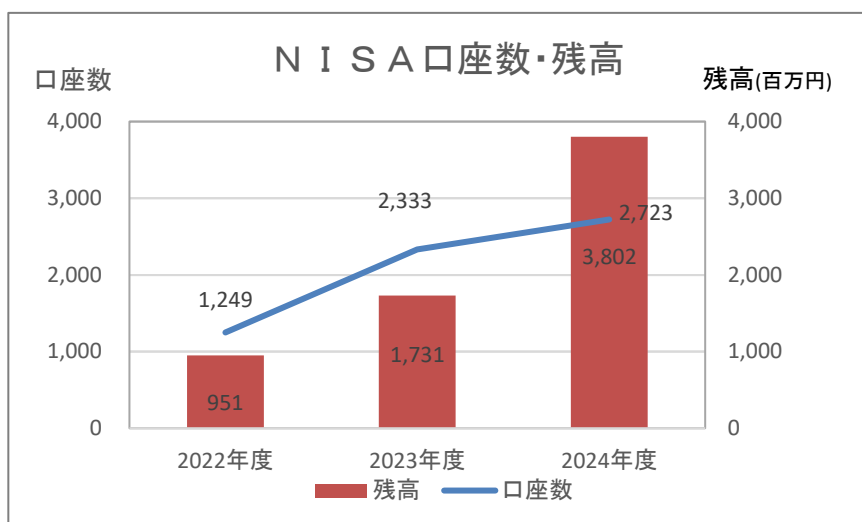
騰落率算出の際に用いる基準価額は、分配金再投資後 (税引前) の基準価額を使用

※上記は将来における当金庫が取扱う投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。

(2) 当金庫は、長期・積立・分散投資により、お客さまの資産形成・運用のお手伝いをさせていただき、お客さまにとっての最善の利益を図るよう努めます。【金融庁原則 2 本文対応】

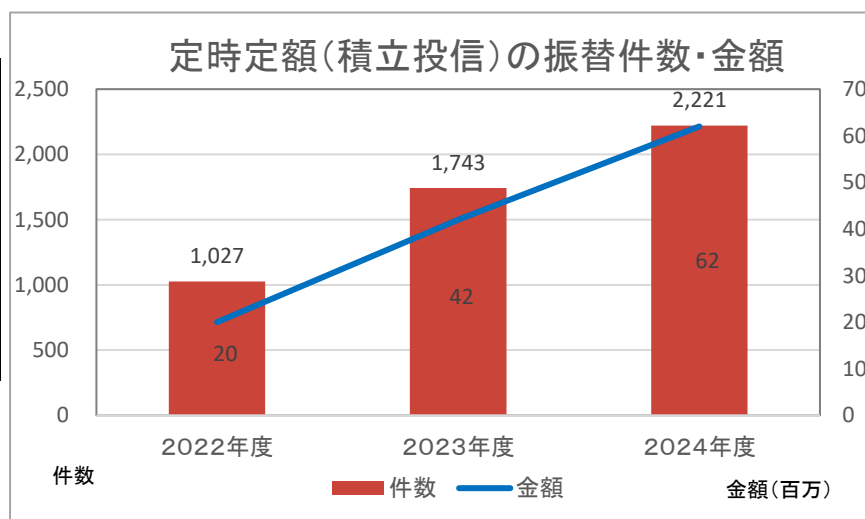
① N I S A (少額投資非課税制度) の口座数・残高の推移

年度	口座数	残高 単位:百万円
2022 年度	1,249	951
2023 年度	2,333	1,731
2024 年度	2,723	3,802



② 定時定額 (積立投信) の利用状況

年度	振替件数	振替金額 単位:百万円
2022 年度	1,027	20
2023 年度	1,743	42
2024 年度	2,221	62



2. 利益相反の適切な管理

(1) 当金庫は、「利益相反管理方針 (https://www.sawayaka-shinkin.co.jp/about/policy/pdf/rieki_souhan.pdf) を遵守し、お客さまの利益が不当に害されることの無いよう適切な管理を行います。【金融庁原則 3 本文対応】

(2) 当金庫は、特定の運用会社と資本関係等の特別な関係はありません。また、当金庫の営業職員に対する業績評価、特定の商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

●投資信託販売上位 10 銘柄（2024 年 4 月～2025 年 3 月）【金融庁原則 3、注対応】

	商品名	比率	販売金額 (百万円)	購入時 手数料	運用管理 費用	信託財産 留保額
1	ダイワ・インド株ファンド	22.49%	1,364	2.20%	1.848%	-
2	しんきんS&P500インデックスファンド	10.06%	610	2.20%	0.4865%	-
3	しんきん日経平均オープン	9.94%	603	1.10%	0.495%	-
4	インデックスファンドNASDAQ100アメリカ株式	6.78%	411	2.20%	0.484%	-
5	三菱UFJライフセレクトファンド（成長型）	5.61%	340	1.10%	0.880%	-
6	SMT グローバル株式インデックス・オープン	5.20%	315	2.20%	0.550%	0.05%
7	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	4.54%	275	2.20%	2.420%	0.30%
8	三菱UFJライフセレクトファンド（安定成長型）	4.16%	252	1.10%	0.814%	-
9	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	3.93%	238	2.20%	1.936%	-
10	たわらノーロード 先進国株式	3.03%	183	0	0.09889%	-

上記より、販売上位銘柄には購入時手数料の低い商品も含まれており、手数料・運営管理費等の多寡にかかわらず、お客さまのニーズに合った適切な金融商品の提供に努めています。

3. 手数料等の明確化

手数料その他の費用については、交付目論見書・目論見書補完書面、投信ラインアップや当金庫HP等において、他の商品と比較が容易となるように並べて示しています。

(<https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?t=1>)【金融庁原則 4 対応】

4. 重要な情報の分かりやすい提供

(1) 当金庫では、投資信託商品の重要な情報について、当金庫HP等において以下の形で提供しています。

【金融庁原則 5 本文および注 1、3、4、5 対応】

- ①各ファンドの概要、基準価額の推移などについては、商品一覧 (<https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx>) のファンドごとの投信情報ページで示しています。
- ②ファンドの運用実績やコストについては、ファンド間の比較が可能な形で掲載しています。(<https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?t=1>)
また、ファンドを複数選択し、商品内容やトータルリターン推移を視覚的に比較することも可能です。
- ③リスクの大きさの比較がイメージとして可能となるよう、「投信ラインアップ」では、リスクの度合いを番号を用いて示しています。
- ④投資信託のご提案の際に、情報をご提供させていただくツールとして、ウェルスアドバイザー社の「Wealth Advisor」をタブレットに導入しています。マーケット状況や購入シミュレーション等、様々な情報を活用し、重要な情報は画面を拡大する等、分かりやすい説明に努めています。
- ⑤お客様に商品を適切に選択していただくため、「重要情報シート」を活用し、重要な情報を分かりやすくご説明します。投信インターネットサービスをご利用のお客様も閲覧できるように、ホームページに掲載しています。

●ファンド比較機能 (HP より抜粋)

ファンド比較

基準価額、純資産は 2025年06月17日 現在
トータルリターン等詳細情報は 2025年05月31日 現在

ファンド名	ダイワ・インド株ファンド [優待]ワフルイン ド]	のむらップ・ファンド(積 立型)	しんきん日経平均オプ ン	しんきんS&P500インデ ックスファンド
運用会社名	大和アセットマネジメン ト	野村アセットマネジメン ト	しんきんアセットマネジ メント投資	しんきんアセットマネジ メント投資
基準価額	10,958円	39,721円	22,492円	19,558円
純資産	86,734 百万円	393,881 百万円	16,034 百万円	83,413 百万円
ファンド レーティング	***	****	**	****
ヘッジ	無	無	--	無
インデックスファンド	インデックス以外	インデックス以外	日経225	その他
最低申込金額	10000	10000	10000	10000
販売手数料	2.2%	1.1%	1.1%	2.2%
信託報酬等 (税込)	年率1.848%(税込)	年率1.518%(税込)	年率0.495%(税込)	実質年率0.4865%(税込)
償還日	2050年06月07日	無期限	無期限	無期限
運用年数	17年	15年	9年	4年
経費率	+3.71%	+1.52%	+0.50%	+0.47%
売買回率	--	--	--	--
デレシオン (債券の場合)	--	7.10	--	--
格付 (債券の場合)	--	--	--	--
トータルリターン 1年	-4.10%	2.33%	0.00%	4.28%
トータルリターン 3年(年率)	17.37%	11.03%	13.27%	17.84%
トータルリターン 5年(年率)	24.88%	13.93%	13.10%	--

トータルリターン相対比較チャート



- SMT グローバル株式インデックス
- SMT 新興国株式インデックス・オープン
- グローバルロボティクス株式ファンド(1年)
- グローバルSDGs株式ファンド

●投信ラインアップ (一部抜粋) リスクランクについて

投資対象	ファンド名 運用会社名	商品の特徴	NISA 投資枠	主なリスク	リスク ランク	決算	分配金 の受取	売却代金 の支払日	購入手数料(税込) 上記以外に定額購入 時、0.5%の手数料がかかります。	信託報酬 (年率・税込)	信託財産 担保額 (年率・税込) なし	定額 つみたて
国内 不動産	SMT J-REITインデックス・オープン 三井住友トラスト・アセットマネジメント	●国内の取引所に上場している、もしくは上場予定の不動産投資信託証券に投資し、東証J-REIT指数(配当込み)に連動する投資成果を目標とします。 ●投資形態はファミリーファンド、為替ヘッジなし。	取扱	国内株式、海外株式、海外債券、海外商品	4	年2回 (5-11月の 各10日)	○	売却申込受付日 から起算して 5営業日を目以降	2.20% 1.54%	0.440%	0.05%	○
海外	SMT グローバルREITインデックス・オープン 三井住友トラスト・アセットマネジメント	●日本以外の世界各所の取引所に上場している不動産投資信託証券ならびに取引所に上場する市場で取引されている不動産投資信託証券に投資し、S&P先進国REIT指数(除く日本)に連動する投資成果を目標とします。 ●投資形態はファミリーファンド、為替ヘッジなし。	取扱	国内株式、海外株式、海外債券、海外商品	4	年2回 (5-11月の 各10日)	○	売却申込受付日 から起算して 5営業日を目以降	2.20% 1.54%	0.605%	0.05%	○
国内	明治安田J-REIT戦略ファンド (毎月分配型) [優待]リート王 明治安田アセットマネジメント	●日本の金融商品取引所に上場されているリート(不動産投資信託証券)および日本国内に投資を行い信託財産の中期的中長期的な成長と安定的な収益の確保を目標とします。 ●投資形態はファミリーファンド、為替ヘッジなし。	取扱	国内株式、海外株式、海外債券、海外商品	3	毎月 (18日)	○	売却申込受付日 から起算して 5営業日を目以降	2.20% 1.54%	0.990%	0.20%	○
	投資のソムリエ アセットマネジメントOne	●マザーファンドを通じて、主に国内外の公社債・株式および不動産投資信託証券(リート)に実質的に投資し、それぞれの配分比率を適宜変更します。 ●投資形態はファミリーファンド、為替ヘッジあり(一部ヘッジ)。	取扱	国内株式、海外株式、海外債券、海外商品	2	年2回 (1-7月の 各11日)	○	売却申込受付日 から起算して 5営業日を目以降	2.20% 1.54%	1.54%	なし	○
	しんきん3資産ファンド (毎月決算型) しんきんアセットマネジメント投資	●3つのマザーファンドと不動産投資信託を通じて、国内株式、海外債券(主に欧州債・米国債)と海外商品(原油および半導体のソブリン債)、国内不動産投資という3つの異なる資産に分散投資します。 ●投資形態はファンド・オブ・ファンズ、為替ヘッジなし。	取扱	国内株式、海外株式、海外債券、海外商品	3	毎月 (20日)	○	売却申込受付日 から起算して 5営業日を目以降	2.20% 1.54%	1.045%	0.30%	○
	しんきん3資産ファンド (1年決算型) しんきんアセットマネジメント投資	●3つのマザーファンドと不動産投資信託を通じて、国内株式、海外債券(主に欧州債・米国債)と海外商品(原油および半導体のソブリン債)、国内不動産投資という3つの異なる資産に分散投資します。 ●投資形態はファミリーファンド、為替ヘッジなし。	取扱	国内株式、海外株式、海外債券、海外商品	3	年1回 (9月20日)	○	売却申込受付日 から起算して 5営業日を目以降	2.20% 1.54%	1.001%	0.30%	○

リスクとリターン	リスクランク	投資目的・リスク許容度
小	①	収益性が低くてもリスクが小さいことを最優先に考えた運用をしたい
	②	ある程度のリスクはやむをえないが利子・分配金等による安定的な収入を重視した運用をしたい
	③	リスクがあっても定期的な収入や値上がり益を重視した運用をしたい
	④	リスクが大きくても中長期的な値上がり益を重視した運用をしたい
大	⑤	リスクが大きくても短期的な値上がり益を重視した運用をしたい

※リスクの大きさは一般的な傾向であり、実際に投資をした場合と異なることがあります。市場動向等によっては上記リスクの大小と大きく異なることもあります。
上記は当運用が分類したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
※上記の投資目的・リスク許容度は、あくまでも目安であり、実際に投資をする場合は、ご自身でご判断ください。

●ウェルスアドバイザー社の「Wealth Advisor」

●重要情報シート 例

<金融事業者編>

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る
重要情報シート（金融事業者編） さわやか信用金庫

1. 会社の基本情報（当社がお客様に提供する金融商品の概要（又は販売仲介する商品））

社名	さわやかの信用金庫	当社の概要 概要を記したウェブサイト	https://www.sawayaka-shinkin.co.jp
登録番号	関東信託局長（登 第173番）	当社の概要 概要を記したウェブサイト	https://www.sawayaka-shinkin.co.jp
加入協会	日本証券業協会		

2. 取組商品（当社がお客様に提供できる金融商品の概要（又はその内容））

預金（投資性なし）	○	外資預金	○
銀行預金	—	外国預金	—
貯蓄	—	外貨定期預金	—
特別な優待（仕組優待等）	—	投資信託	○
ラップ口座	—	ETF、ETN	—
FX取引	—	その他の上場証券	—
外国（投資リスクなし）	○	投信（投資リスクあり）	—

NISA・つみたてNISA・個人向け国債等にもご案内しております。

3. 商品ラインナップの考え方（商品ラインナップの考え方を説明いたします）

※当企業は、お客さまにとって使い勝手のよい、良質な金融商品を提供し、お客さまの豊満の利益を図るよう努めます。
※商品ラインナップは、多岐にわたる多様な特定の商品の提供は致しません。お客さまのニーズに応じて商品ラインナップを調整いたします。
※お客さまの資産状況、取引経験、知識やご意向等をしかりとお聞きし、ライフプランなどを踏まえたコンサルティングを行い、お客さまが納得されている金融商品をご案内いたします。

4. 支店・相談窓口

当社の支店相談窓口	コンプライアンス管理部	フリーダイヤル 0120-308-770	受付時間 平日 9:00~17:00
取引相談の相談窓口	資産・金融商品お申し込み相談センター（日本証券業協会）	フリーダイヤル 0120-44-9005	
上記以外の相談窓口	支店（個人・個人相談）	東京支店 03-5811-0311 東京支店 03-5811-0311 第一東京支店 03-5811-0311 第二東京支店 03-5811-0311	

金融庁消費者サービス利用相談室
0570-016-811
(03-5251-6811)

<個別商品編>

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る
重要情報シート（個別商品編） さわやか信用金庫

1. 商品の内容（商品名、組成会社等の名称を挙げ、お客様に商品の概要を説明いたします）

商品名：さわやか 先進国債券

組成会社（運用会社）：さわやか 先進国債券

商品概要：先進国債券の運用を行う。元本割りのリスクがある。

2. リスクと運用実績（本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

運用実績：過去1年間の運用実績は、平均で7.5%、最高で11.0%、最低で-1.0%です。

3. 費用（本商品は、購入時・保有時・売却時に発生する費用があります）

購入手数料：1.10%

運用費用（信託報酬）：年率0.45%（税込0.45%）

4. 換金・解約の条件（本商品は換金・解約する場合は、一定の手続きを要することがあります）

この商品の運用は2023年9月10日現在、運用実績は過去1年間の実績です。

この商品の概要を説明する資料は、以下のURLからダウンロードいただけます。

重要情報シート（個別商品編）

1. 商品の概要

2. リスクと運用実績

3. 費用

4. 換金・解約の条件

5. 投資性の評価

6. 情報の開示

7. その他

8. 問い合わせ先

●当金庫ホームページ 投資信託情報

さわやかで資産運用
投資信託
はじめませんか

✓身近な「さわやか」に気軽にご相談!
✓インターネットで土日祝もお取り引き!
✓さらに手数料もおトク!
✓つみたて投信なら月々1,000円から

投資信託のインターネット取り扱いを開始しました!

これからお取り引きを考えた方
お取引開始までの手続き

インターネット取り引きだと便利なおトク
さわやか投資インターネットサービス

投資信託について知る

投資信託を学ぶ
投資信託の概要、特徴や仕組み等についてご案内します。
➢ 投資信託の仕組み
➢ 投資信託の「リスク」と「リターン」
➢ 購入後の書類について
➢ 費用と税金について

(2) 当金庫は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等する場合には、個別に購入いただくことが可能かどうかや、パッケージ化しない場合との比較、お客さまにふさわしい商品であるかを検討し提供いたします。現在、そのような情報提供が必要と考えられる商品の取扱はありません。

【金融庁原則5、注2および原則6、注2対応】

5. お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供

(1) お客さまの多様なニーズにお応えして、それぞれのお客さまにふさわしい商品を提供できるよう幅広い商品を揃えています。なお、商品の選定に際しては、商品の組成会社におけるプロダクトガバナンスに関する取組みの把握にも努め、それを商品選定等にも活用してまいります。【金融庁原則6本文および注7対応】

●取扱投資信託商品

- 国内債券 : <https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?target=0>
- 海外債券 : <https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?target=2>
- 内外債券 : <https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?target=4>
- 国内株式 : <https://apl.wealthadvisor.jp/webasp/sawayaka-sk/pc/fund.aspx?target=1>

(3) 当金庫はお客さまに投資信託をご購入いただいた後も、アフターフォローを通じて継続的に経済状況・市場動向等の重要な情報を提供しています。【金融庁原則6、注1および注5対応】

①アフターフォロー実績

年度	フォロー実施件数
2022年度	1,845
2023年度	2,564
2024年度	4,125

※お客様の属性・保有状況に応じて一定基準に基づき実施しております。

②アフターフォロー内容

- ・アフターフォロー実施前に、現在のマーケット環境等について職員に研修を実施しています。
- ・各運用会社が作成する「月次レポート」や「販売用資料」等を使用して、ファンドの運用状況等を説明しています。
- ・運用状況の説明については、評価の要因等について、お客さまに分かりやすい情報提供を行うことを心がけています。
- ・説明に対する反応・ご意向を伺い、その情報を金庫内で共有し、今後のお客さまの資産形成に役立つよう対応していきます。

(4) 取扱商品に関する「投信会社が販売対象として想定する顧客属性」を理解するとともに、当金庫のリスク分類との整合性等を検証し、お客様一人ひとりの適合性を十分に把握したうえで真のニーズに合致した適切な提案、説明を行います。取扱商品に関する「投信会社が販売対象として想定する顧客属性」については、重要情報シートに掲載しています。【金融庁原則6、注3対応】

(5) 当金庫は、75歳以上のお客さまに対しては、その商品の販売・推奨等が適切か、より慎重に審査するため、営業店役席者の承認を必要とし、理解力・判断能力等に問題は無いかを確認のうえ行います。
【金融庁原則6、注4対応】

(6) 金融商品の販売後においては、組成会社とも協力のうえ、想定する顧客属性と実際に購入したお客様の属性の乖離を検証してまいります。そして、検証した結果、及びお客様の反応・苦情等の情報について、組成会社と情報連携し、取扱商品のラインアップや販売方法の見直しに活用してまいります。【金融庁原則6、注6対応】

(7) 当金庫は、販売会社としての立場から、製販全体としてお客さまの最善の利益を実現するための販売体制を構築します。

体制構築の時期については、「基本方針5. お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供 アクションプラン(6)」に関する2025年9月以降の、業界団体作成フォーマットを利用した組成会社との情報連携の開始を一つの目途と考えています。【金融庁原則6本文、注3、注6、注7および補充原則対応】

6. お客様の満足度を高めるための人材育成

(1) 当金庫は、お客様本位の営業活動を促進するために、職員の金融商品知識やコンサルティング能力の向上を目指します。【金融庁原則7本文対応】

●FP（ファイナンシャル・プランニング）資格取得状況（2025年3月末現在）

資格名称	資格取得人数(人)
CFP	7
AFP	29
1級FP技能士	18
2級FP技能士	433
3級FP技能士	543
合計	1,030

(2) 当金庫職員が取扱商品の理解を深めるために、毎年集合研修および支店ごとに研修を行っています。また、コンサルティング能力向上のための研修や、お客様向けにセミナーを開催しています。

【金融庁原則7、注対応】

●2024年度 研修・勉強会開催実績

研修内容	参加のべ人数
預かり資産に関する研修・勉強会	1,313
課題解決型営業に関する勉強会	1,277
若手職員に対する基礎研修(入庫1年目～3年目)	1,303

この他に、お客様向けセミナーや相談会を82回実施し、373名のご参加をいただきました。

(3) 営業店の営業活動を支援するため、本部所属として投資信託専担者を配置し、担当店舗の職員と同行訪問をして適切な勧誘・販売を行っています。また、研修・指導を行い、職員のコンサルティング能力の向上を図っております。

【金融庁原則7、注対応】